



## 平成28年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年6月6日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285  
 四半期報告書提出予定日 平成28年6月14日 配当支払開始予定日 平成28年7月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年10月期第2四半期の連結業績（平成27年11月1日～平成28年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第2四半期	7,319	0.9	504	14.0	379	△30.4	183	△36.4
27年10月期第2四半期	7,255	7.1	442	△5.9	545	6.9	287	2.4

(注) 包括利益 28年10月期第2四半期 △45百万円 (-%) 27年10月期第2四半期 475百万円 (59.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第2四半期	24.26	—
27年10月期第2四半期	38.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第2四半期	20,350	15,768	77.5
27年10月期	20,790	15,919	76.6

(参考) 自己資本 28年10月期第2四半期 15,768百万円 27年10月期 15,919百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	12.00	—	14.00	26.00
28年10月期	—	12.00	—	—	—
28年10月期（予想）	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成28年6月6日）公表いたしました「平成28年10月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（第2四半期末配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成28年10月期の連結業績予想（平成27年11月1日～平成28年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	1.9	1,100	17.7	1,000	△5.5	560	△7.7	74.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年6月6日）公表いたしました「平成28年10月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（第2四半期末配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年10月期2Q	8,144,400株	27年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	28年10月期2Q	600,920株	27年10月期	600,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年10月期2Q	7,543,480株	27年10月期2Q	7,543,480株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は減速しつつも緩やかな回復傾向が続き、欧州も緩やかに回復しておりますが、中国を始めとする新興国経済の減速が続くなど、依然として先行きに不透明感がありました。

一方、わが国経済においては、企業収益や雇用情勢の改善が見られ景気は緩やかに回復傾向をたどっておりますが、年明けから円が急騰し、また株価が下落するなど、今後の景気に慎重な判断を必要とする状況となっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは独自性と高付加価値で優位性を持つ製品やサービスを提供するとともに、販路拡大に向け国内外に営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,319百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益504百万円（前年同期比14.0%増）となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外連結子会社に対する外貨建貸付金の為替差損の計上により、経常利益379百万円（前年同期比30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益183百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

## ①塗料事業

金属用塗料分野では、中国では経済減速の影響を受け低調であったものの、日本国内はユーザーの環境意識の高まりにより環境対応型製品が伸び、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、新規ユーザーへの採用が当初予定より遅れていることや、無塗装フローリング製品の増加の影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、前連結会計年度に採用された新商品は堅調に推移しているものの、全体としては出荷数量が減少し、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。その他の分野の樹脂素材分野においては、スマートフォン向けの製品の低迷により、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は5,005百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は477百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

## ②ファインケミカル事業

化成品における電子材料向けコーティング剤やアジア向けのシリコン系コーティング剤が堅調に推移したことや、自動車内装向けに自己治癒<sup>®</sup>コーティング剤の新規参入ができたことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は474百万円（前年同期比18.9%増）、セグメント利益は54百万円（前年同期比368.3%増）となりました。

## ③シンナー事業

シンナー事業におきましては、新規顧客の獲得に加え既存顧客でも販売が拡大し、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,839百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は229百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は13,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が367百万円増加し、受取手形及び売掛金が563百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が295百万円、投資有価証券が31百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は20,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ440百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が226百万円、未払法人税等が202百万円減少したものの、前受金が183百万円増加したことによるものであります。固定負債は646百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が12百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は15,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を183百万円計上した一方で、配当金の支払105百万円があったこと、為替換算調整勘定が204百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.5%(前連結会計年度末は76.6%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ350百万円増加し、6,351百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は776百万円(前年同期は976百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益377百万円、減価償却費238百万円、売上債権の減少553百万円による資金の増加と仕入債務の減少224百万円、法人税等の税金の支払376百万円による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は285百万円(前年同期は292百万円の支出)となりました。これは主に資金運用における定期預金の払戻、有価証券の償還及び信託受益権の売却による収入1,553百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出181百万円、定期預金の預入、有価証券の取得、投資有価証券及び信託受益権の取得による支出1,670百万円による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は109百万円(前年同期は169百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払105百万円による資金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向や事業環境を踏まえ、通期業績予想及び配当予想を変更いたしました。詳細につきましては、本日(平成28年6月6日)公表いたしました「平成28年10月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(第2四半期末配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,478,087	6,845,460
受取手形及び売掛金	5,300,793	4,737,501
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	956,210	929,252
仕掛品	29,067	30,098
原材料及び貯蔵品	417,396	504,321
繰延税金資産	122,943	101,778
その他	619,436	699,263
貸倒引当金	△5,178	△4,703
流動資産合計	14,018,756	13,942,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,051,631	2,805,419
機械装置及び運搬具(純額)	1,074,391	990,237
土地	1,646,208	1,660,667
その他(純額)	176,070	196,568
有形固定資産合計	5,948,302	5,652,892
無形固定資産	268,475	234,417
投資その他の資産		
投資有価証券	390,036	358,812
繰延税金資産	13,668	12,966
その他	154,615	149,856
貸倒引当金	△2,926	△1,208
投資その他の資産合計	555,393	520,427
固定資産合計	6,772,170	6,407,737
資産合計	20,790,927	20,350,711
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,871,576	2,645,103
未払法人税等	340,077	137,786
賞与引当金	229,462	210,738
役員賞与引当金	31,700	17,210
その他	742,909	923,984
流動負債合計	4,215,725	3,934,822
固定負債		
繰延税金負債	34,362	30,383
役員退職慰労引当金	261,000	271,270
退職給付に係る負債	175,216	162,420
その他	184,702	182,892
固定負債合計	655,281	646,966
負債合計	4,871,006	4,581,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	10,624,724	10,702,152
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	15,051,350	15,128,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,815	116,279
為替換算調整勘定	735,575	531,042
退職給付に係る調整累計額	△7,820	△7,179
その他の包括利益累計額合計	868,570	640,143
非支配株主持分	—	—
純資産合計	15,919,920	15,768,921
負債純資産合計	20,790,927	20,350,711



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
売上高	7,255,549	7,319,190
売上原価	5,544,503	5,526,955
売上総利益	1,711,046	1,792,234
販売費及び一般管理費	1,268,430	1,287,624
営業利益	442,615	504,609
営業外収益		
受取利息	3,092	2,156
受取配当金	3,922	4,548
貸倒引当金戻入額	1,701	1,363
為替差益	80,632	—
その他	19,475	12,122
営業外収益合計	108,825	20,190
営業外費用		
支払利息	214	11
売上割引	5,357	5,314
為替差損	—	135,251
その他	204	4,542
営業外費用合計	5,775	145,119
経常利益	545,665	379,680
特別利益		
固定資産売却益	4,144	2,291
補助金収入	—	18,874
特別利益合計	4,144	21,166
特別損失		
固定資産処分損	20,964	5,741
固定資産圧縮損	579	18,037
特別損失合計	21,544	23,778
税金等調整前四半期純利益	528,265	377,068
法人税、住民税及び事業税	243,047	169,316
法人税等調整額	△2,632	24,715
法人税等合計	240,415	194,031
四半期純利益	287,849	183,036
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,849	183,036

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)
四半期純利益	287,849	183,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,787	△24,535
為替換算調整勘定	149,528	△204,532
退職給付に係る調整額	1,903	641
その他の包括利益合計	187,218	△228,426
四半期包括利益	475,068	△45,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475,068	△45,390
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	528,265	377,068
減価償却費	253,132	238,086
固定資産圧縮損	—	18,037
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,117	△2,193
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,350	△11,616
受取利息及び受取配当金	△7,015	△6,705
支払利息	214	11
固定資産処分損益 (△は益)	1,314	4,376
固定資産売却損益 (△は益)	15,505	△927
為替差損益 (△は益)	△9,255	124,657
売上債権の増減額 (△は増加)	395,759	553,760
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111,632	△86,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,684	△224,182
補助金収入	—	△18,874
その他	△135,435	181,826
小計	924,069	1,146,597
利息及び配当金の受取額	6,764	6,772
利息の支払額	△204	△4
法人税等の還付額	156,854	290
法人税等の支払額	△110,623	△376,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	976,860	776,697
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△258,801	△269,654
定期預金の払戻による収入	147,781	252,801
有価証券の取得による支出	△600,000	△600,000
有価証券の償還による収入	600,000	600,000
信託受益権の取得による支出	△700,000	△800,000
信託受益権の売却による収入	700,241	700,233
有形固定資産の取得による支出	△197,786	△181,921
有形固定資産の売却による収入	55,898	5,685
無形固定資産の取得による支出	△2,880	△9,961
投資有価証券の取得による支出	△783	△877
差入保証金の差入による支出	△22,322	△49
差入保証金の回収による収入	185	576
補助金の受取額	—	18,874
その他	△13,668	△1,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292,136	△285,311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△71,000	—
配当金の支払額	△88,816	△105,469
その他	△9,634	△4,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,450	△109,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,672	△31,142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	486,600	350,519
現金及び現金同等物の期首残高	5,483,289	6,001,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,969,889	6,351,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,203,536	398,719	1,653,293	7,255,549	—	7,255,549
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	3,924	134,055	138,252	△138,252	—
計	5,203,809	402,643	1,787,348	7,393,801	△138,252	7,255,549
セグメント利益	500,062	11,628	189,999	701,690	△259,074	442,615

(注) 1. セグメント利益の調整額△259,074千円は、セグメント間取引消去9,826千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△268,900千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,005,771	474,114	1,839,303	7,319,190	—	7,319,190
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,136	347	108,797	110,282	△110,282	—
計	5,006,908	474,462	1,948,101	7,429,472	△110,282	7,319,190
セグメント利益	477,855	54,452	229,440	761,748	△257,138	504,609

(注) 1. セグメント利益の調整額△257,138千円は、セグメント間取引消去11,539千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△268,677千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。